

2022年度 法科大学院

第5期入学試験問題

1 時限

憲法

(論文式)

試験時間 50 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[憲法]

日本国憲法第13条後段が保障する「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」の意義や法的性格、及びその内容につき、学説の説くところを説明しなさい。また、「何人も、その承諾なしに、みだりにその容ぼう・姿態を撮影されない自由を有する」旨の判断を下した最高裁判所昭和44年12月24日大法廷判決（刑集23巻12号1625頁）に関して、①当該判決の事案の概要、②上記自由の制約が許容される要件など当該判決が採用した判断枠組み、及び③当該事案についての具体的判断につき、解説しなさい。